

次期多摩市交通マスタープラン策定委託 地域別意見交換会の開催結果

令和7年1月

1. 地域別意見交換会の開催

1-1 開催概要

地域別意見交換会の開催概要については以下のとおり。

表 地域別意見交換会の実施概要

実施目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民の移動実態（移動の変化も含めて）・困りごと・求められる交通サービスの要因等を整理するため、地域別意見交換会を開催した。 ● 把握した内容を踏まえて、想定課題の設定・アンケート調査設計に活用した。 	
日時・場所	永山	11月18日（月）18時30分～ ベルブ永山5階ベルブホール
	聖蹟桜ヶ丘	11月22日（金）18時30分～ ヴィータ・コミュニネ8階 関戸公民館大会議室
	多摩センター・唐木田	11月30日（土）10時00分 中央図書館・活動室1 ※手話通訳あり
対象者	市民 ※子育て世帯や高齢者団体等に参加呼びかけを実施 ※広報紙・市HP・路線バス車内・ミニバス車内等で告知し、参加自由とした。	
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ■開会 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から挨拶、趣旨説明（計画策定の背景や目的、意見交換会の位置付け）、当日の流れの説明を行った。 ■多摩市の現状 <ul style="list-style-type: none"> ・人口分布、施設分布状況を共有した。 ・想定される問題点・課題を説明した。 ■公共交通に関する取組事例の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換時の参考にさせていただくために、公共交通の取組事例を紹介。 ■意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の居住地区を踏まえ、班をつくる。班ごとに簡単な自己紹介 ・地区内住民の「移動状況」「移動における困りごと」を発言いただいた。 ・挙げられた意見や事例を踏まえて、公共交通の改善アイデアを検討 ・最後に各班で結果発表を行った。※複数班ある場合 	
作成資料	<ul style="list-style-type: none"> ・現況整理結果 ・地域別現状マップ（人口メッシュ・バスルート・主要施設等を記載） 	
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が発言しやすいよう、1グループの人数は7人前後とした。 ・資料中には専門用語の記載を避け、分かりやすい言葉を使用した。 	

1-2 開催結果

1-2-1 参加状況

市内3地区における合計参加者数は計20人であった。
各回における参加状況は次のとおり。
結果概要および今後の方向性は、次ページのとおり。

表 各回における参加者数

開催日時・場所	参加者数
■2024年11月18日(月) 18時30分～ 永山地区(ベルブ永山)	9人
■2024年11月22日(金) 18時30分～ 聖蹟桜ヶ丘地区(関戸公民館)	7人
■2024年11月30日(土) 10時30分～ 多摩センター・唐木田地区(多摩市立中央図書館)	4人



開催の様子(永山地区)



開催の様子(聖蹟桜ヶ丘地区)



開催の様子(多摩センター・唐木田地区)

1-2-2 永山地区

■地域の移動状況・困りごと

- 歩道が狭くて、ベビーカーがすれ違えない
- 自転車が車道を通りにくい
- 幹線道路の整備が必要。
- 高低差があるため、バス停まで行きにくい
- 渋滞があり、スクールバスの到着が遅れることがある
- スクールバスに乗り切れない時がある
- 一般タクシーは値段が高いため、子育て時でも利用しにくい
- シルバーパスはとても便利。
- 在宅ワークが増えており、外出は減っている
- 行動範囲はコロナ流行時よりも広がっている
- 永山駅周辺はお店が減っているため、駅までの外出は減っている。
- 自家用車で仕事に行くことが多い。
- 都心に行く時は鉄道を使っている。
- 近くのスーパーに行く時は自転車を使う。
- 多摩市は、自家用車がなくても暮らしやすい
- 普段は徒歩・自転車で過ごしているが、土日は自家用車を使う。
- 宅配サービスも使うことも多い。
- 子供の送迎は車を使うことが多い。

■市内の公共交通に対する意見・要望

<路線バスについて>

- 路線バスは混雑していて、ベビーカーだと使いにくい。
- 永山駅から市役所までのバスが少なくて困っている。
- 旧・貝取小学校までのバスはお年寄りの利用で混雑している。

<ミニバスについて>

- ミニバスは朝時間帯混雑している。

<その他>

- 南北をつなぐ交通ネットワークが弱い。
- 市外と市内をつなぐ道路が弱い。

■地域に求められる交通サービス

- 聖蹟桜ヶ丘、多摩センター、永山を結ぶバスがあると良い。
- ミニバスを団地内まで走らせて欲しい。
- 自家用車が減って、団地内の駐車場が余っているため、バス乗降場所として活用できないか。
- 聖蹟桜ヶ丘駅周辺は、保育施設が少ないため、桜ヶ丘から永山方面までの子育て世帯に

よる移動ニーズがあるのではないか。

- 子育てに特化した公共交通があると便利なのではないか。
- 子育てタクシーがあると良いのではないか。
- デマンド交通は高齢者にとっては、良いのではないか
- スマートフォンを利用できる高齢者が増えた場合は、アプリ配車も使いやすいのではないか。
- シルバーパスがあるので、デマンド交通は使われないのではないか。
- デマンド交通は予約が手間に感じる
- スーパーまでの移動支援をしてほしい。
- 団地を移動するバスが必要。

■その他

- 子育てしやすい街になれば、市外からの移住者も増えるのではないか。
- 永山は子供の数が減少している
- 目的地となるような新しい拠点を作る必要もあるのではないか。

1-2-3 聖蹟桜ヶ丘駅

※参加者全員が桜ヶ丘在住であった

■地域の移動状況・困りごと

- 桜ヶ丘は、自家用車がないと生活しにくい。
- 普段は自家用車で移動することが多い。
- 近場であれば、徒歩や自転車でも移動する。
- 上り坂が大変なので、バスを利用することもある。
- 桜ヶ丘は高低差があり、特に高齢者は地域内の移動が大変である。
- 普段は、聖蹟桜ヶ丘駅や永山駅で用事を済ませている。
- 家族や知人の送迎で移動している高齢者も多いが、今後も誰かに送迎を頼めるかが分からず不安を抱えている。
- 70代はまだ移動に困っている人も少ない。80代半ばから移動に困ることが多い。
- 高低差があり、バス停まで歩くのが大変である。

■市内の公共交通に対する意見・要望

<ミニバスについて>

- 朝晩は混雑するが、日中はガラガラであるため、需要と供給のマッチングを図る必要があるのではないか。
- ミニバスで行きたい場所に行けない。

<一般タクシー>

- 時間帯を問わず、タクシーがつかまらないことが多い。

■地域に求められる交通サービス

- 自宅近くで乗車できるようなサービスが望ましい。
- 既に家族送迎・知人送迎をしている状況であるので、ボランティア輸送のような支え合いの交通サービスが合うのではないか。地域貢献・お小遣い稼ぎになるので、有効ではないか。
- デマンド交通は、運行にお金がかかるので、慎重に検討することが必要である。
- 移動需要や財政負担を考えると、タクシー助成が妥当ではないか。

■その他

- 交通弱者の移動状況を詳細に分析した方が良いのではないか。

1-2-4 多摩センター・唐木田地区

■地域の移動状況・困りごと

- 近所のお出かけは徒歩や自転車で済ませることが多い。
- 聖蹟桜ヶ丘に行くこともある。
- 京王堀之内駅や南大沢など、市外へのお買い物もある。
- 子供に送迎してもらうこともある。
- 月に1~2回は宅配サービスも使っている。
- スーパーに行けないから、宅配サービスを使っているわけではない。
- 図書館が新しくできたため、図書館に行くことが増えた。
- ミニバスを使って、南部地域病院などに通院している。
- 坂があるため移動が大変である。
- 自転車道が連続していないため、自転車で移動がしにくい。
- 速度の速い電動自転車が歩行者専用道を走っていて、危ないと感じる。

■市内の公共交通に対する意見・要望

<路線バスについて>

- 路線バスは夜の便が少ない。
- 路線バスが遅れてしまうことがある。
- 帰りのバスがない。
- 町田方面などに公共交通で行きにくい。
- バスの乗り降りが大変。

<ミニバスについて>

- ミニバスは本数が少ないと感じる。

<その他>

- 坂が多いので、家の近くで乗車できるようにしてほしい。
- 広域の移動をしやすくしてほしい。
- バスの乗り換えをしやすくしてほしい。

■地域に求められる交通サービス

- 視覚的にわかりやすい情報発信を検討できないか。
- 聴覚障害があるため、バスのアナウンスがわからない。字幕表示等があるとわかりやすいのでは。
- 乗務員が話している内容をリアルタイムで文字化する機械を導入できないか。
- 遅延情報がわかると良いのではないか。
- 新しい交通サービスを導入する際に、障害者団体に聞き取りを行って、障害のある人でも利用しやすい環境づくりができないか。

■その他

- 移動クリニックなども考えられるのではないか。
- 都市整備と連携した交通サービスを考えて欲しい。

1-3 当日配布資料

1-3-1 多摩市の現況

多摩市の「公共交通」に関する 意見交換会



多摩市 道路交通課
2024年 11月18日・22日・30日

① 開会

事務局紹介

多摩市 都市整備部 道路交通課

コンサルティング事業部
石田 洋平、城平 徹、五十嵐 裕音

② 趣旨説明

多摩市では 次期多摩市交通マスタープラン を
作成中です

次期多摩市交通マスタープランは、
地域にとって「より良い公共交通サービスの姿」、
その実現に向けて実施すべき取組等を記載するものです。
※公共交通とは、鉄道・路線バス・ミニバス・タクシー等を指し
ます。



② 趣旨説明

多摩市では 次期多摩市交通マスタープラン を
作成中です

<作成の流れ>



本日の流れ

- ① 開会
- ② 趣旨説明
- ③ 多摩市地域公共交通の現状と課題
- ④ 公共交通に関する他市の事例
- ⑤ 意見交換
<テーマ>
・ 普段の移動状況
・ 移動における困りごと
・ 望ましい公共交通サービス
- ⑥ 閉会



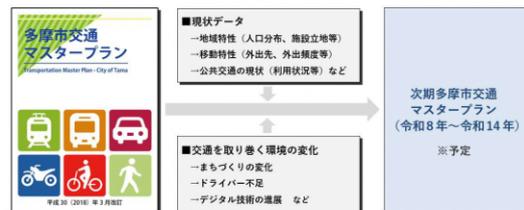
- ① 開会
- ② 趣旨説明
- ③ 多摩市地域公共交通の現状と課題
- ④ 公共交通に関する他市の事例
- ⑤ 意見交換
<テーマ>
・ 普段の移動状況
・ 移動における困りごと
・ 望ましい公共交通サービス
- ⑥ 閉会



② 趣旨説明

多摩市では 次期多摩市交通マスタープラン を
作成中です

多摩市交通マスタープランをベースに環境の変化等を踏まえて、次期
多摩市交通マスタープランの策定を行います。



- ① 開会
- ② 趣旨説明
- ③ 多摩市地域公共交通の現状と課題
- ④ 公共交通に関する他市の事例
- ⑤ 意見交換
<テーマ>
・ 普段の移動状況
・ 移動における困りごと
・ 望ましい公共交通サービス
- ⑥ 閉会



③多摩市地域公共交通の現状と課題

人口動態

人口は減少傾向にあり、今後も微減すると推計されています。

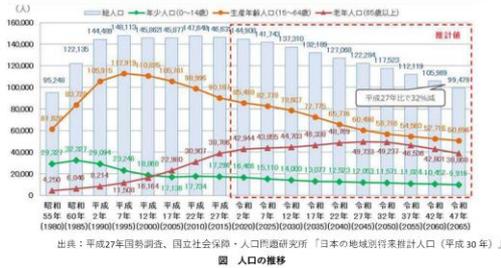


図 人口の推移

9

③多摩市地域公共交通の現状と課題

年齢構成

年齢構成をみると、40代～50代が特に多い。
70代以上の人口は23.9%である。

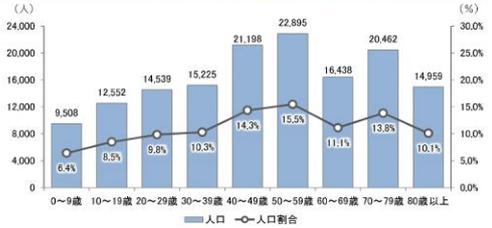


図 年齢構成

10

③多摩市地域公共交通の現状と課題

地区別の高齢化率

地域別の高齢化率をみると、
多摩センター駅南側・永山駅南
側において高齢化が進行してい
る。

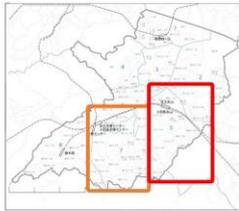


表 地域別年齢別人口

令和6年	第1地域	第2地域	第3地域	第4地域	第5地域	第6地域	第7地域	第8地域
0～14歳	1,743	2,377	1,119	1,846	2,615	1,438	2,067	2,335
15～64歳	11,372	12,520	5,889	9,763	14,555	9,608	12,734	12,375
65歳以上	3,577	5,359	2,754	3,964	8,333	4,277	9,903	5,253
人口	16,692	20,256	9,762	15,573	25,503	15,323	24,704	19,963
高齢化率	21.4%	26.5%	28.2%	25.5%	32.7%	27.9%	40.1%	26.3%

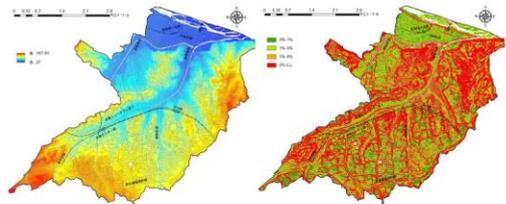
出典：住民基本台帳（令和6年1月1日時点）

11

③多摩市地域公共交通の現状と課題

地形状況

起伏が大きく、坂も多い地形である。



出典：基礎地図情報数値標高モデルより作成

図 多摩市標高分布図

出典：基礎地図情報数値標高モデルより作成

図 多摩市傾斜分布図

12

③多摩市地域公共交通の現状と課題

通勤状況

市外への通勤は 八王子市、府中市、23区が多い



図 多摩市から他市町への通勤流動圏

出典：令和2年国勢調査

13

③多摩市地域公共交通の現状と課題

通勤状況

通勤による市外からの流入は 八王子市、川崎市が多い



図 他市町から多摩市への通勤流動圏

出典：令和2年国勢調査

14

③多摩市地域公共交通の現状と課題

通学状況

市外への通学は 八王子市、世田谷区などが多い



図 多摩市から他市町への通学流動圏

出典：令和2年国勢調査

15

③多摩市地域公共交通の現状と課題

通学状況

通学による市外からの流入は 町田市、八王子市などが多い



図 他市町から多摩市への通学流動圏

出典：令和2年国勢調査

16

③多摩市地域公共交通の現状と課題

人口分布

市全域に人口が分布している。
特にニュータウンエリアや駅周辺に人口が集積している。

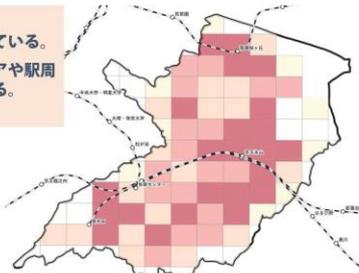


図 人口分布 出典：令和2年国勢調査 17

③多摩市地域公共交通の現状と課題

商業施設の立地状況

商業施設は、**鉄道駅周辺**に多く集積している。
住宅地内にもスーパー等が点在している。
(一部閉業するスーパーも)



出典：2020大型商業施設変更表 (加えてGoogleMapによる確認も行った) 18

③多摩市地域公共交通の現状と課題

医療施設の立地状況

医療施設は、**鉄道駅周辺**に多く集積している。
住宅地内にもスーパー等が点在している。

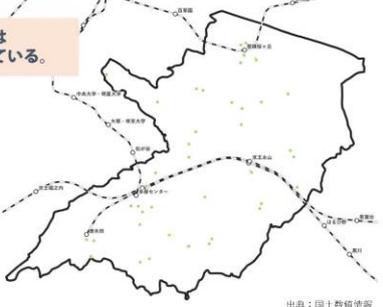


出典：地域医療システム (加えてGoogleMapによる確認も行った) 19

③多摩市地域公共交通の現状と課題

公共施設の立地状況

公共施設は**各地域**に点在している。



出典：国土数値情報 20

③多摩市地域公共交通の現状と課題

自家用車保有台数 (自家用車利用状況)

1世帯あたりの自家用車保有台数は、**0.51台/世帯**であり、**自家用車を持たない世帯もみられる。**



出典：【自家用車台数】関東運輸局統計情報 / 【世帯数】住民基本台帳 図 自家用車保有台数 21

③多摩市地域公共交通の現状と課題

交通事故発生件数

多摩市内の交通事故発生件数は**322件**であり、**高齢者の死傷者数は64件**となっており、**微増傾向**である。



出典：警視庁提供資料 22

③多摩市地域公共交通の現状と課題

公共交通ネットワーク

市内には**多様な公共交通**が運行している。

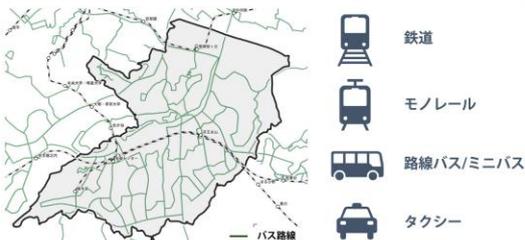


図 公共交通ネットワーク 23

③多摩市地域公共交通の現状と課題

鉄道利用者数 (1日あたり)

1日あたりの鉄道利用者数は、約**29万人**であり、**新型コロナウイルスによる利用減から徐々に回復**している。



出典：交通事業者提供資料 24

③多摩市地域公共交通の現状と課題



路線バス利用者数（1日当たり）

1日あたりの路線バス利用者数は、約4万8千人であり、新型コロナウイルスによる利用減から徐々に回復している。

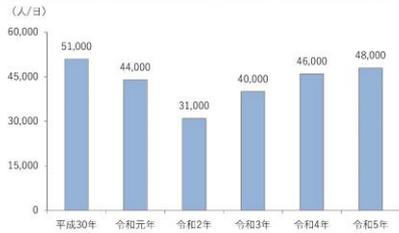


図 1日あたりの路線バス利用者数 出典：交通事業者提供資料

25

③多摩市地域公共交通の現状と課題



ミニバス利用者数（1日当たり）

1日あたりのミニバス利用者数は、約1,900人である。コロナ前の水準まで利用が回復している。



図 1日あたりのミニバス利用者数 出典：多摩市

26

③多摩市地域公共交通の現状と課題



運転士数（全国）

交通事業者においては、運転士不足が深刻化しており、都市部においても減便を余儀なくされている。

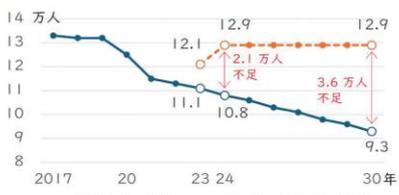


図 運転士数 出典：日本バス協会による試算

27

③多摩市地域公共交通の現状と課題



大型二種免許保有者数（全国）

令和5年時点の大型二種免許保有者数は、約78万人であり、平成30年から減少傾向である。



図 大型二種免許保有者数 出典：運転免許統計（警視庁）

28

③多摩市地域公共交通の現状と課題



市内における減便等の状況

市内では、人手不足によって路線バスの減便・ミニバス南北線の維持が困難な状況である。



29

③多摩市地域公共交通の現状と課題



想定される多摩市地域公共交通の課題

- 各地域から鉄道駅までの移動手段の維持・確保
- 近距離のおでかけを支える公共交通手段の確保
- 自転車の利用環境の向上
⇒走行環境の整備、駐輪場スタッフの確保（または無人化の検討）など
- 人手不足を踏まえた公共交通ネットワークの構築
⇒市内の公共交通サービスについて、維持すべきサービスの明確化
- 公共交通サービス同士の連携強化
- まちづくりと連動した公共交通サービスの提供

30

④公共交通に関する他市の事例

ご紹介する事例

- デマンド交通（予約型乗合タクシー）
- ボランティア輸送
- 小型モビリティサービス
- タクシー利用料金の助成
- その他（利用環境整備、デジタル活用など）

31

32

- 開会
- 趣旨説明
- 多摩市地域公共交通の現状と課題
- 公共交通に関する他市の事例
- 意見交換
＜テーマ＞
・ 普段の移動状況
・ 移動における困りごと
・ 望ましい公共交通サービス
- 閉会



④ 公共交通に関する他市の事例



■デマンド交通（予約型乗合タクシー）

予約に応じて運行する公共交通サービスです。利用者が予約した時間帯に指定した乗降場所を運行します。同じ時間帯に複数の利用者がいる場合は、乗合で運行します。

- ☑ **メリット**：自宅近くで乗降できる/無駄な運行を減らすことができる等
- ☒ **デメリット**：利用の際に予約が必要になる/利用者が少ない場合は費用対効果が悪くなる等



② デマンド交通の運行イメージ
出典：三鷹市ホームページ

33

④ 公共交通に関する他市の事例



■ボランティア輸送（静岡県森町）

地域の方がドライバーになり、地域の方を輸送するサービス。運賃は実費相当（燃料費）程度。

- ☑ **メリット**：安価で移動できる/車内でコミュニケーションが生まれやすい等
- ☒ **デメリット**：プロではない運転手による運行/利用時に気を遣う等

34

④ 公共交通に関する他市の事例



■小型モビリティのレンタルサービス

小さな需要に対応する小型の交通サービスに関する取組も進んでいます。

- ☑ **メリット**：近距離の移動がしやすい/細い道でも移動できる等
- ☒ **デメリット**：雨天時に利用しにくい/適切な管理が必要（いたずら防止など）等

- ☐ 小型電動車
- ☐ 電動車いす
- ☐ 電動キックボード



35

④ 公共交通に関する他市の事例



■タクシー料金の助成

移動手段を持たない75歳以上の高齢者世帯や、運転免許証を自主返納した高齢者へ、買い物や通院など日常生活の移動支援のために、タクシー利用料金を助成している。

- ☑ **メリット**：なじみのある交通であるため利用しやすい/経済的負担の軽減等
- ☒ **デメリット**：利用回数に制限がある/申請手続きが必要等

項目	内容（一例）
助成額	ひと月あたり3枚の利用券を一括交付（1枚につき500円）
交付枚数の変動	申請月により、交付枚数が変わる（例：4月36枚、5月33枚、6月30枚...）
利用枚数の制限	1回の利用枚数の制限はなし
運賃超過時の利用券利用	運賃を越えた額のタクシー券の利用も可能（ただし、おつりは出ない）

36

④ 公共交通に関する他市の事例



■その他の取組

- ☐ 利用環境の整備
- ☐ デジタル技術の活用（アプリ予約など）

37

- ① 開会
- ② 趣旨説明
- ③ 多摩市地域公共交通の現状と課題
- ④ 公共交通に関する他市の事例
- ⑤ 意見交換
＜テーマ＞
・ 普段の移動状況
・ 移動における困りごと
・ 望ましい公共交通サービス
- ⑥ 閉会



38

⑤ 意見交換

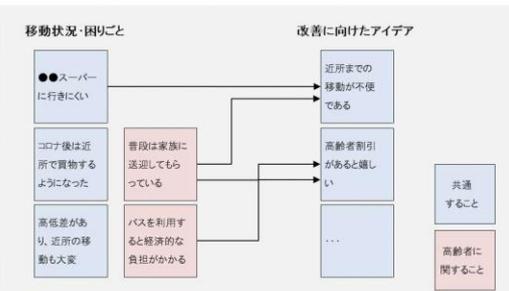
■意見交換の進め方

- ① 班ごとに簡単に自己紹介【1人1分程度】
(名字・お住まいの地区・普段の公共交通の利用状況等)
 - ② テーマに沿って意見交換【約40分】
事務局が進行します
- | テーマ | 意見の例 |
|---------------------------------|---|
| ご自身や地域住民の移動状況 | 普段は●●スーパーに自家用車で行く。通院は、●●病院に家族の送迎で行く。 |
| 移動における困りごと | 坂が多くて、近くのスーパーまで行くのも大変。 |
| 望ましい公共交通サービスや改善アイデア、求められるサービス水準 | 取組事例で紹介された●●サービスは使ってみた。せめて、土日の午前中だけでも●●スーパーまで行けるようにしてほしい。 |
- ③ 意見交換結果の発表【約10分】

39

⑤ 意見交換

■意見交換の成果イメージ



40

⑤意見交換

📌意見交換時の注意事項

- ① 自分と異なる意見を尊重する
→他人の意見を否定しない
- ② 話している人の意見を最後まで聞く
→話をさえぎらない
- ③ 発言は、なるべく簡潔にまとめる
→「伝えたいこと」「その理由」を話すことを意識する
- ④ 攻撃的な言葉を避ける
→個人への批判や、感情的な言葉遣いは避ける
- ⑤ わからない点等があれば、いつでも質問してください

41

⑥閉会

本日はご参加いただき、
誠にありがとうございました。

本日いただいたご意見を踏まえ、
皆様の生活を便利にするための公共交通サービスの検討を
進めてまいります。

本日、伝えきれなかったご意見がある場合は、
会場内の職員にお話しいただくか、
多摩市道路交通課までご連絡ください。

43

- ① 開会
- ② 趣旨説明
- ③ 多摩市地域公共交通の現状と課題
- ④ 公共交通に関する他市の事例
- ⑤ 意見交換
＜テーマ＞
・普段の移動状況
・移動における困りごと
・望ましい公共交通サービス
- ⑥ 閉会



42

